

藝大のオンライン講義の基本案

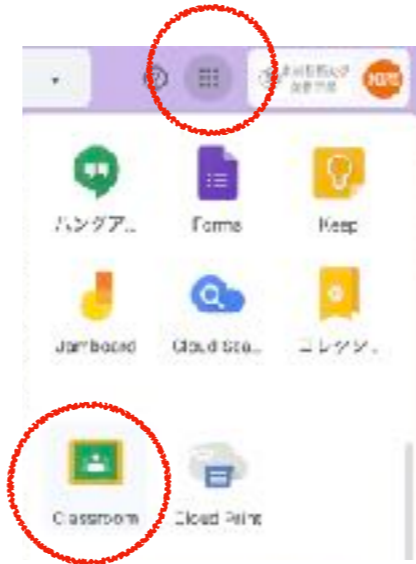
第一段階 講義単位での、学生への連絡方法

Google Classroomを利用（共通）

すでに教員の皆さん（非常勤の先生や助教、助手含む）は、いつでも使える状態にあります。

（次ページでどんなことができるか紹介）

Gmailの、このアイコンの一番下にあります。



学生は講義の連絡や課題、課題提出などを各授業ページで確認
教員は提出状況も確認でき、採点もできる。

第二段階 講義単位での、オンライン講義

手法はいくつかあります。ここでは原則、先生のやりやすいスタイルが良いと考えます。（手法を限定しない方針）

※配信に関しては教員向け講習会を実施予定です。

例2：大学で準備するスタジオ教室で教員が授業を録画してオンデマンドか、リアルタイム配信

例3：教員が自宅から、リアルタイム配信

課題

例1：課題をClassroomで提示し、レポートや制作物などをClassroomで提出させる。



過去に録画したアーカイブを見せるスタイルもあり。

Google Hangout meetなど。

リアルタイムの場合、学生はそれを自宅で同時に見る。



藝大のオンライン講義の基本案

学生は講義の連絡や課題、課題提出などを各授業ページで確認

第一段階のGoogle Classroomについて。

学生の利便性を考えると、ここはなるべく全学、全講座で揃える方向です。

<Google Classroomの利用開始イメージ（案）>

- 1 助手か教員が、各講義のページを作る。
(ゼミや各学年の連絡に使うのも便利です)



教員は課題提出状況も確認でき、採点もできる。

- 2 学生はWebをみて参加する予定の講義のクラスコードを入力して参加。



※学生は「クラスに参加」で参加する。



- 3 学生はClassroomに参加すると、教員と掲示板（ストリーム）で連絡が取れたり、課題を提出できる。

わかりやすい使い方解説のYouTubeビデオあります。 検索ワード ↓

はじめてのGoogleClassroom

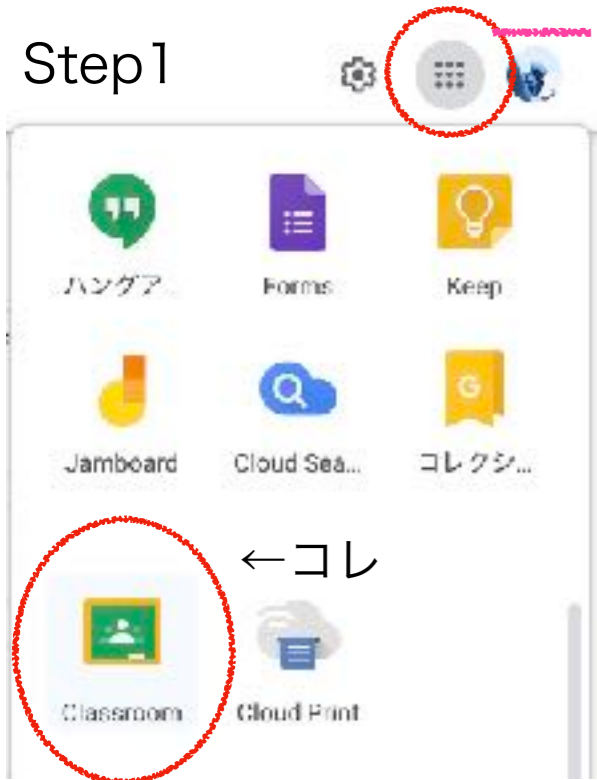
Google Classroomの参加のやり方。(学生むけ)

参加する予定の講義のクラスコードを入力して参加します。

まず、学生は学籍番号のメールアドレスのGoogle アカウントにログインしてから…



Step 1



Gmailの、ここをクリックすると、アイコンの一番下にClassroomはあります。

Step 3

学生は教えてもらったクラスコードを入力。



先生はクラスコードをコピー。
(先生や助手が学生を直接招待する場合があります)



Step 2

※学生は「クラスに参加」で参加する。

ここをクリック



クラスに参加
クラスを作成

「クラスを作成」は、教員向けメニューで、助手か教員にしかできません。

Step 4



学生はClassroomに参加すると、教員と掲示板（ストリーム）で連絡が取れたり、課題を提出できる。

教員は課題提出状況なども確認でき、採点もできる。

わかりやすい使い方解説のYouTubeビデオあります。 検索ワード ↓

はじめてのGoogleClassroom

発行したクラスコードを科目名とシラバスのリンクとを一覧表にしてまとめる予定です。各学部で作成した一覧はキャンパスプランに掲載され、学生はそれを見て登録します。

Google Classroomの作成のやりかた (助手の人におねがいしたいこと)



Step1 慣れてほしいです。まず、ご自分で気軽にClassroomを作ってみましょう！

先端ではまず、ガイダンスに向けた各学年の連絡用Classroomを作っています。
研究室で作ってゼミの連絡とかに使うのもおすすめです！



※各科で開設している科目で、他科からも履修者が見込まれる科目については、特にclassroomを開設してください。

※教員、非常勤講師、助教、助手はクラス作れます！（作れない場合はAMCに連絡してください）

Step2 教える側として参加してほしい人（＝管理者）を「教師」として追加しましょう。（複数参加可能）

Step3 資料や連絡事項、課題を「授業」タブの中に、どんどん入れていきましょう！

更新した情報はストリーム（掲示板）に出ます。ちょっとした情報はストリームに直接書き込みましょう。

Step4 学生を招待しましょう。

i. ゼミや科の必修科目のようにあらかじめ履修者がわかっている場合は、事前に助手か教師が学生のメールアドレスで登録する。

ii. 一般教養や他科に解放している科目は、クラスコードを公開して学生が登録するが、その場合は科で登録メンバーを確認して不審者がいた場合は削除する。

iii. 履修登録期間終了後は、それ以降に不審者が参加できないよう、クラスコードを「無効にする」操作を行う。

※現在Classroomの参加は、藝大メールアドレス以外でも参加可能になっています。これは教室のキャパと非正規生の履修（聴講）も含めた参加者数についても把握できるようにするためにです。

具体的なオンライン講義のやりかた

基本的には各先生のやり方を最大限尊重して実施したいと考えています！

例1 課題をClassroomで提示し、レポートや制作物などをClassroom上のGoogle Driveなどで提出させる。



例2 普段の講義で使っている、プレゼンテーション(パワポやKeynote)に音声をいれ、それをムービー化してClassroomに置く。レポートやディスカッションなどはClassroomで行う。



先端八谷の作った、Keynote書類がClassroomに置いてあります。

例3 講義をiPhoneなどで録画し、ムービーとしてClassroomに置き、学生に見てもらう。それに対してのレポートやディスカッションなどはClassroomで行う。(録画は各研究室や第一演習室で行う)



デザイン科藤崎先生の作った、授業がClassroomに置いてあります。

例4 自宅や第一演習室からリアルタイムで配信の授業を行う。双方向の授業。

(Hangouts MeetやZOOMを利用)

